

## 軟体動物

### 水生貝類

水生の貝類には巻貝と二枚貝などがある。市内では巻貝のカワニナは多くの水路に生息し、ヒメタニシもさらに汚れた水路などにも生息して個体数も多い。昔の水田に生息していたタニシはマルタニシで、農薬などの影響で市内では絶滅しているようだ。二枚貝はこの調査ではマシジミしか観察できなかったが、市内の野田地区にある西明寺沼ではイシガイやドブガイを観察したことがある。以前には市野川や滑川の旧川跡の沼ではタナゴ類が見られ、そのような池では大型の二枚貝も生息していた。たぶん、今でもタナゴ類などがある池や沼では大型の二枚貝も生息している。池を干すようなときに立ち会えたら、貴重な大型の二枚貝も見られるかもしれない。

調査での出現種			
群No	分類群	科名	種名
1	水生貝類	カワニナ科	カワニナ
2		サカマキガイ科	サカマキガイ
3		シジミガイ科	マシジミ
4		タニシ科	ヒメタニシ

### カワニナ科 カワニナ・タニシ科 ヒメタニシ

カワニナは水路などに多く棲む。ホタルの餌動物として知られる。ヒメタニシは水路や水田にも棲むが、昔のタニシとは別種。昔のタニシはマルタニシで少し大きく、最近ほとんど見えない。子供の頃、田圃でタニシを捕って味噌で味を着け食べたこともあるが、ヒメタニシは食べたいとは思わない。



カワニナ・ヒメタニシ



ヒメタニシ

### カマキガイ科 サカマキガイ

水田や緩い流の川などに生息する5mm程度の小型の巻貝で、他のタニシやカワニナなどの巻貝と違い、殻が左（反時計回り）に巻いている。



サカマキガイ

### シジミ科 マシジミ

内陸の淡水に棲むシジミで、市内ではきれいな水の流れる砂泥のある水路に生息する。数十年も前だが、市野川や滑川の河川内でも沢山生息していて、魚獲りに行ったときに、子供でも手に入るこの貝を沢山採って家に持ち帰り、味噌汁にしてよく食べた記憶がある。きれいな水に生息するのであるが、都幾川の本流ではほとんど生息していない。少し泥が混じらないと生息できないようだ。



マシジミ

### 陸生貝類

この分類群はカタツムリ類である。どこにでも居そうな生物だが、調査での出現個体数は多くなかった。

調査での出現種			
群No	分類群	科名	種名
1	陸生貝類	オカモノアラガイ科	オカモノアラガイ
2		キセルガイ科	ナミギセル
3		ナメクジ科	ナメクジ
4			ヤマナメクジ
5		ナンバンマイマイ科	ウスカワマイマイ
6			オナジマイマイ
7			コハクオナジマイマイ
8			ナンバンマイマイ科 sp
9			ニッポンマイマイ
10			ヒダリマキマイマイ
11			ミスジマイマイ



オオケマイマイ

### ナンバンマイマイ科 オオケマイマイ

石灰岩のある地層に多く生息していると言われる。今回の調査中には確認できなかったが、都幾川の調査地で1頭を目撃した。独特な殻に毛の生えた形をしている。数年後の同じ場所、台風の増水で倒木の下に流れ着いた殻を大量に発見した。ただし、生きているのは1回の確認だけで、それからは見かけない。



オナジマイマイ

### ナンバンマイマイ科 オナジマイマイ

小さなカタツムリでよく見かける。こんなものが昔からいたのかなと考えても、記憶にない。小さいカタツムリは子供の頃の採集の対象にならず、覚えていないのかも。



ミスジマイマイ

### ナンバンマイマイ科 ミスジマイマイ

市内では一番普通に出現する種で、殻に3本の模様が走る。ただし、1本の縞模様しかない個体もいて、バリエーションに富んでいる。殻の直径は2cmくらいである。



ヒダリマキマイマイ

### ナンバンマイマイ科 ヒダリマキマイマイ

殻の中央に1本の縞模様がある。名前のように他のカタツムリと違って、左巻きになっている。殻の直径は大きいものでは4cmくらいになる。最近では個体数が少なく、あまり見られない。

### キセルガイ科 ナミギセル

朽木などに生息し、苔などを食べているが、市内では個体数は少ないようだ。今回の調査では市野川の旧川脇の林で1回しか確認できていない。



ナミギセル

### オカモノアラガイ科 オカモノアラガイ

畑わきの荒地に多数発生することもある。草の葉に沢山付いている光景は、ちょっと気持ち悪い。



オカモノアラガイ

### ナメクジ科 ナメクジ

殻は無いが、カタツムリの仲間である。伸びると6cmくらいにまでなり、調査地の各地点で出現し、庭などでも見られる。最近は住宅地にはほとんど居なくなっている。



ナメクジ

### ナメクジ科 ヤマナメクジ

山林内に出現するナメクジで太く8cmくらいの個体も見たことがある。調査では市民の森で確認しただけであった。



ヤマナメクジ



チャコウラナメクジ

(参考)

### コウラナメクジ科 チャコウラナメクジ

外来種で、住宅地に侵入した。畑や自宅の庭でも多数の個体が発生して、イチゴなどの農作物を食害するのでやっかいなものだ。

## 扁形動物類 ウズムシ目

調査では扁形動物は下表の1種を確認しただけである。

調査での出現種			
群No	分類群	科	種名
1	扁形動物	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ



ナミウズムシ

### サンカクアタマウズムシ科 ナミウズムシ

水のきれいな川や小さな流に生息する。ヨーロッパ産のプラナリアとは別属だが、近縁。

画面の上が頭、よく見ると小さい目がある。口は腹面中央。半分になっても身体が元通りになるという、再生の実験動物として有名。腹面中央に咽頭があり、小さな水生昆虫類を食べる。